

在宅医療・介護連携推進事業 急変時等課題共有にかかる 情報交換会の開催について

蓮田市在宅医療介護課

急変時について検討する背景

在宅医療の4場面別にみた連携の推進



急変時について検討する背景

急変時の対応の考え方(一部抜粋)

○めざすべき姿

医療・介護・消防(救急)が円滑に連携することによって、在宅で療養生活を送る医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者の急変時にも、本人の意思も尊重された対応を踏まえた適切な対応が行われるようにする。

○現状把握

実際の急変時の対応に関して、住民のニーズや医療・介護関係者からの意見を聞く等により、実際に急変時の対応がうまくいかなかった事例など、どのような課題が生じているのかを把握することが重要である。

○現状分析・課題抽出・施策立案

住民や関係者がどのようなニーズや課題を持っているかということをベースとして、地域において、患者・利用者が急変した場合に、介護職員がどこに連絡をしたらよいか等、急変時の連携体制が十分であるか、持続可能性が十分か、といった観点から評価し、医療・介護・消防(救急)の有機的な連携を検討していく必要がある。

蓮田市における位置づけ

第9期介護保険事業計画での位置づけ

事業名	④ 急変時の対応	担当	在宅医療介護課
概要と現状	在宅で療養生活を送る高齢者の急変時にも、本人の意思が尊重された適切な対応が行われることをめざします。そのためには、医療・介護・消防の連携による、本人の意向の共有が図られる必要があります。		
方向性	急変時の連携体制について現状を把握し課題を共有するための、医療・介護・消防関係者による情報交換会等、連携強化に取り組みます。		

今回は、初回の情報交換会です。

第9期介護保険事業計画の期間
(令和6～8年度)において、
各年度につき1回の情報交換会
を実施するよう計画しています。



蓮田市における取り組み

■急変時等課題共有にかかる情報交換会を開催

○令和7年1月15日(水) 19～21時

蓮田市役所 301会議室

○構成メンバー

訪問診療実施医療機関／有床医療機関／

訪問看護ステーション／居宅介護支援事業所／

訪問介護事業所／介護施設／地域包括支援センター／

蓮田市消防本部／蓮田市在宅医療介護課

○情報交換会の目的

「急変時」や「急変時の困りごとや問題と感じていること」について情報共有を行い、今後の急変時対応の検討につなげることを目指します。

情報交換会 意見交換内容

1. 「在宅で療養生活を送る高齢者の急変時」について、現状の把握と共有をしましょう
2. 「急変時対応について、困っていること・問題と感じていること」について、現状の把握と共有をしましょう

●在宅医療介護連携推進における急変時についての意識に関するアンケート

- ・市内に所在する居宅介護支援事業所 18か所対象
18か所から回答
- ・実施期間：令和6年12月18日（水）～12月27日（金）

1. 「在宅で療養生活を送る高齢者の急変時」について

急変とは(定義に関すること)

○何をもって「急変」とするか 状態変化

▪いつもと違う状態

意識や呼吸状態が**普段と異なる**、など

※「熱が続いていても元気な場合」もあれば、
「いつもと違って活気がない」場合もある

▪考えられる変化の要因

疾患によるもの	生活習慣病、感染症など
治療によるもの	処方薬が変更になった時など
生活によるもの	入浴後など

▪予測可能なものか

疾患などにより、**予測できる状態変化**か、予測できないものか

1. 「在宅で療養生活を送る高齢者の急変時」について

急変とは(定義に関すること)

○何をもって「急変」とするか 時間的变化

・状態変化の時間的な長さによる違い

急に具合が悪くなるもの

1週間ぐらいかけて徐々に状態が悪くなるもの

・医療的な急変 予測

意識レベルの低下 や、
酸素濃度が勝手に下がっていく状態など

予測しない状態が現れ、治療を要すると判断した場合

→ 救急対応 (様子見できない生命に直結するような急激な変化)

ターミナルで、状態悪化の予測ができていれば、「急変」と違う表現。

ターミナルの脳卒中は、急変。

※なだらかな変化の時: 早めの受診をすすめている。

1.「在宅で療養生活を送る高齢者の急変時」について

急変とは(定義に関すること)

○何をもって「急変」とするか

・ケアマネジャーへのアンケート結果(別紙参照)

* 身体的急変

: バイタルサインの急激な変化、感染症、転倒などによる体動困難、誤飲による呼吸困難など

* 状況的急変

: 介護家族の体調悪化や入院など

急変の定義は、人によって異なり、また職種によっても異なる

1.「在宅で療養生活を送る高齢者の急変時」について

急変時の対応について

○状態変化に対する気づきについて

複数の目があることで、
状態変化に気づきやすくなる

・サービス利用による違い

サービス利用あり	訪問診療・訪問看護・デイ・訪問介護など	本人に関わる支援者が気づく
	月1回程度の訪問	状態変化に気づきにくい
	レンタルのみ利用	誰が気づくことができるか...
サービス利用なし(元気なかたなど含む)		状態変化に気づきにくい 相談先がない

・生活状況による違い

在宅	独居	状態変化に気づきにくい
	家族あり	家族が遠方の場合など 状態変化に気づきにくい
施設(上記の多様なサービス利用ありと同様)		急変に気づきやすい

1.「在宅で療養生活を送る高齢者の急変時」について

急変時の対応について

○状態変化に対する気づきについて

・状態変化の予測による違い

どうしたら、共有できるのか
...ACPの必要性

急変時の定義にて、予測されていない状態変化 → 救急対応
⇒ 予測された状態変化は、道筋がたてられ、対応可能

予測可能かどうか	予測された状態変化が 共有されているか	急変時対応
医療にかかっている	本人・家族・関係者が 状態変化を共有	慌てずに対応可能
	関係者で共有なし	対応が難しくなる
	本人・家族が治療などを 把握していない	
医療にかかっていない	状態変化が予測されて いない	誰が気づくことが できるか...

色々な病気を持ちながらも、
元気に暮らしているかた...

1. 「在宅で療養生活を送る高齢者の急変時」について

急変時の対応について

○状態変化の判断について

- ・本人・家族と医療介護関係者の急変のとらえ方の違い
家族が本人の**普段の様子を知らない** → 急変と捉える
本人・家族は**急変と思っていない**が、バイタルは異常値

平時から、「普段の健康状態や受診のタイミング」の共有が必要では

- ・状態変化の時間的な長さによる対応の違い
急な変化（大きく分かりやすい急変）：救急搬送の相談
徐々に進む状態変化：**どのように対応したらいいか**不安
→ 複数で対応したり、受診すすめたりしている

本人・家族と取り巻く多職種関係者で、急変のボーダーラインなどを決められたら...
(状態変化、時間的変化、予測)

1.「在宅で療養生活を送る高齢者の急変時」について

急変時の対応について

○状態変化の判断について

- 基本情報が全くない場合の急変の判断

独居や家族が遠方の場合、**基本情報**取得が難しく、急変時の判断も難しくなる

医療介護関係者が日頃関わっていないかたや、救急の対象のかた、
一期一会のかたの基本情報を、平時にどのように準備できるのか...

- 救急における判断と対応

救急要請があったものは、すべて緊急として対応する
(耳が痛い、人差し指をちょっと切ったなど)

急変時の定義や判断が、個人で異なるので、
急変の定義の幅を狭めることで、救急の適正利用につながることを期待する

2.「急変時対応について、困っていること・問題と感じていること」について

○急変時の意向確認について

- ・本人と家族が、**急変時について話し合えていない場合**、いざという時に、本人の希望に反し、家族の思いが優先される。
- ・施設は、入所時に意向確認あるため、更新が課題。

○救急搬送について

- ・救急搬送時、**対象者の情報収集が難しいため**、救急搬送に時間がかかることもある。

○支援と経済的な事情について

- ・独居で身寄りがないかたが、在宅から施設を検討する際、**経済的な理由で入所できないことがある**。また、**経済的な理由で医療介護サービス導入が難しい**かたもいる。

情報交換会のまとめ

- ・「急変時」の定義は、人によって異なり、職種によっても異なる。
- ・「急変」に対応するには、予測された状態変化に対応していく必要がある。
- ・「予測されたことへの対応」のキーワードは、「共有」。

- * 「予測されたこと」の進み具合や結果が共有されているか
本人・家族・医療介護関係者など
- * 変化に気づけるよう、平時の状況が共有されているか
基本的な健康情報が共有されているか など

連携の
推進

医療にかかっていない「状態変化が予測されていないかた」への対応として
本人や家族も、「自分のことを知る(健康管理をする)必要がある」と
いうことを周知啓発していくことも必要ではないか・・・

ご意見いただきたいこと

急変時の情報交換会にて、様々な意見が交わされ、いくつかのキーワードや課題が見えてきました。

今後は、これらのキーワードなどから、解決策の検討や、解決策によって得られる成果などを検討し、継続して市としての課題抽出と解決策の検討を実施してまいります。

情報交換会で出た意見を踏まえて、蓮田市として、今後の取り組みを検討するにあたりどう取り組むべきか、各職種のお立場から、ご意見をお願いいたします。